

9月9日（金）高い樹

とよおかしょうがっこう 豊岡小学校には、^{たか き なんぼん}高い樹が何本かありますね。クスノキ、イチヨウ、^{さくら にんげん}桜など人間よりも^{たか の}高く伸びています。

^{みな}皆さんも、いろいろな場所^{ぼしよ たか き み}で高い樹を見たことがあるはずです。樹を見上げて「^{き み あ たか}高いなー」と^{おどろ}驚いたことがあるはずです。世界には、なんと100メートルを超える高い樹もあるそうです。



それにしても、樹は^きどうしてこんなに^{たか そだ}高く育つのでしょうか。動物には、こんなに^{たか の}高く伸びるものは、いません。

^{りゆう}理由は、^{さいぼう}細胞の^{ちが}違いです。動物の^{どうぶつ}体も植物の^{からだ}体も、^{さいぼう}細胞という^{いのち}命を作るものが^{つく}たくさん^{あつ}集まってできています。人間の^{からだ}体は37兆個の^{さいぼう}細胞で^{つく}作られていると言われて^いいます。

^{どうぶつ}動物の^{さいぼう}細胞の^{まわ}周りは、^{まく}膜で^{おお}覆われているだけで^{がんじょう}頑丈ではありません。その^{てん}点、植物の^{さいぼう}細胞は、「^{さいぼうへき}細胞壁」という^{じょうぶ}丈夫な^{かべ}壁で^{おお}覆われています。その^{かべ}壁があるおかげで、植物の^{さいぼう}細胞は^{がんじょう}頑丈なのだ^{たか}そうです。頑丈な^{さいぼう}細胞だから^{たか}高く^{たか}高く^{そだ}育っていくことができるのです。

村越 新